

2017年度通訳案内士試験
＜第2次口述試験対策特別セミナー＞資料(その2)
(嘉悦レオナルド裕悟講師)
(2017年10月29日)

ハロー通訳アカデミー

1 通訳案内士の仕事—ガイディング—

【例題—明治神宮—】

「明治天皇と昭憲皇太后をお祀りする神社」

- ・天皇:「日本国および日本国民の統合の象徴として位置づけられる地位」
- ・神社:「神道の神を祭ってある建物」
- ・神道:…etc

→なんら前提知識を必要とせず理解できるレベルまで説明

2 第2次口述試験合格に必要な力

(1) 知識

(2) 語学力

(a) トピックに固有の言葉

- ・「日本的事象英文説明 300 選」、予想問題…etc

(b) どのトピックにも使う言葉

- ・和文外国語訳

(c) 簡単に言い換える力

3 逐時通訳

【例題—2016 年度過去問題より「寿司飯」—】

これから、寿司飯の作り方を説明します。まず初めに、少し、米を硬めに炊きます。炊いたお米を、しゃもじで寿司桶に移します。寿司酢はそのまま注がずに、しゃもじに伝わらせて、少しずつ、全体に行き渡るようにかけます。ここで、すぐに混ぜてはいけません。5 秒ほど待って、米に寿司酢が染みこんでからやわらかく混ぜます。

- ・しゃもじに伝わらせて

4 プレゼンテーション

【例題—2016 年度過去問題より「神社」—】

神社について話します。日本には基本的に二つの主要な宗教があります。一つは神道であり、これについてはこれから詳しくお話します。もう一つは仏教です。「shrine」は神道のものであり、「temple」は仏教のものです。ここでは神道に集中します。

神社には鳥居という門があります。鳥居は、上端が2本の水平な横木で連結されている2本の垂直な柱からなります。(ジェスチャーを交えつつ説明) 鳥居を通過する際には、神様に対して敬意を表すためにお辞儀しなければなりません。(お辞儀してみせる) 次に、祭壇でどのようにお祈りするかを説明します。二度お辞儀をして、二度手をたたいて、お願い事をしながらもう一度お辞儀します。

東京を旅行するのであれば、明治神宮がおすすめです。この神社は明治天皇と昭憲皇太后をお祀りしています。彼らは、幕末—江戸時代の終わり—と明治時代において日本の近代化を見届けました。この神社の建物はヒノキでできており、伝統的な神道様式で建てられており、素朴でかつ荘厳です。ここでは神道の伝統を体験することが出来るでしょう。

(1) 過去問検討

- (a) 歴史 明治維新
- (b) 文化 渋谷スクランブル交差点
- (c) 観光知識 浮世絵について
- (d) 宗教 日本で年末年始に行われること,お受験,恵方巻き
- (e) 風習,風物 神社

(2) 類型化

- (a) 展開方法
 - (ア) そのものを説明する
 - (イ) より広い文脈に位置づける
- (b) まとめ
 - (ア) お客さんにお勧めする
 - (イ) 意義づけをする
 - (ウ) 東京オリンピック

(3) 鉄則

- ・定義・訳・テーマを冒頭に
- ・当たり前なことも説明する
- ・簡単に言い換える